

特集!!

ロビーで展示・資料を展示

所蔵資料展示「教科書にのる有名古典」

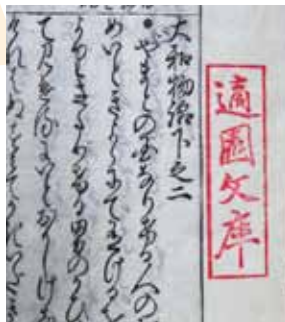
2017年6月19日～8月10日に所蔵資料展示「教科書にのる有名古典」を附属図書館玄関ホールで開催しました。

三重大学では、前身の三重師範学校・三重農林専門学校から引き継いだ本を母体に和本1000点・漢籍300部を所蔵しています。これらの貴重書の調査を進めています。成果を元に平成25年度からテーマごとの展示・公開を行っており、今回が9回目となります。附属図書館所蔵の貴重資料のうち日本古典文学に関するものを14点選んで公開しました。

単なる古典文学の紹介ではなく、中学校と高校の教科書に収録されている作品を対象としました。「伊勢物語拾穂抄」「大和物語」「源氏物語湖月抄」「源氏物語評釈語釈余釈」「栄花物語抄」「大鏡」「平家物語」といった物語文学、「土佐日記考証」「土佐日記俚言解」「十六夜日記残月抄」といった日記文学、「枕草子読本」「鉄槌」（徒然草注釈書）といった随筆、「十訓抄」「沙石集」といった説話文学のうち、教科書によく載る箇所を開いて、教科書の引用パネルと並べて展示しました。また実際の国語教科書を用意し、教科書を手にとってすべての展示作品と対照できるようにいたしました。

展示には附属図書館研究開発室兼務室員吉丸雄哉先生（人文学部准教授）、人文社会科学系大学院生樗木宏成さん・出口真由さんにご協力いただきました。

展示資料のうち蔵書印に適園文庫とある書籍は三重大学教育学部の前身である三重県師範学校教諭であった阿保友一郎先生の旧蔵書です。阿保先生が三重大学に残してくれた財産だといえるでしょう。三重大学附属図書館は過去の遺産を大事にし、また未来につなげたいと思っています。



適園文庫 蔵書印



これまでの所蔵資料展示目録は下記サイトからご覧いただけます。



企画展示いろいろ

テーマに沿った本を館内に展示しています。

●「実は面白い古典」(6月19日～11月2日)

上記の所蔵資料展示と同時に、図書館1階エレベーター前では「実は面白い古典」と題して、現代語訳や英訳、注釈、あるいは古典をモチーフにした小説などの関連図書展示を行いました。「源氏物語」や「枕草子」など、誰もが一度はふれたことのある有名古典を中心に、現代語訳や解説付きで初心者にも読みやすく、堅苦しいと思われがちな古典の世界をより身近に感じ、興味をもってもらえるような本を集めました。「古典には興味が...」という人も手に取りやすいような、文庫本を中心にそろえています。



●「ハロウィン&死者の日」(10月2日～11月2日)

近年アメリカをはじめ日本においても大衆的行事となった「ハロウィン」。そして、ちょうどハロウィンと同じ時期にラテンアメリカ諸国で盛り上がりを見せる伝統行事「死者の日」。今回の展示では、世界の文化や伝統に触れていただくことを目的に、この2つの行事の起源や歴史、そしてそこに潜む心性に迫ります。所蔵図書をはじめ、多数の現地写真や実際に現地で使用される雑貨なども併せて、1階エレベーター前で展示しています。ぜひご覧ください。また、今後もしろいろなテーマで所蔵資料の展示を行う予定です。お楽しみに。

